

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年2月10日 文責:校長 森川 稔

つながる・つなげる

先週中頃は猛烈な寒波が再びやってきて、安全な登校についてご配慮いただきありがとうございました。私自身、田平東にきて初めての冬を過ごしていますが、かなり体感温度が低く感じます。こんなにも風が冷たく雪も降るんだと驚いています。

また、週末も雪は降らなかったものの気温がなかなか上がり寒かったですね。しかし、予報によると明日の建国記念の日以降は気温も上がるようで、今度こそ春の足音を実感したいですね。

さて、2月も中旬になり、各学年・学級とも今年度のまとめとともに次年度へのつながりを意識した取組を行っています。その中のいくつかを紹介します。

4年生以上が4つの委員会に所属して学校全体のために活動している委員会活動ですが、4～6年生は先日、最後の委員会活動で1年間の取組の反省を行いました。同時に次年度から委員会活動が始まる3年生は、所属する委員会を決め、それぞれの委員会の場所に行って自己紹介や活動内容についての説明を受けました。初めての活動ということ



でちょっと緊張の面持ちでしたが、高学年に教えてもらいながら学校全体のために動いてほしいと思います。また、4、5年生も新たに次年度に向けた編成を行いました。同じ委員会で部長として活動を引っ張っていく子、これまでとは別の委員会で新しい活動に取り組む子、これまでの活動を卒業までの間に下学年に教える6年生、それぞれに気持ちを新たにがんばる姿を期待します。

1年生は、これまで育ててきた花や野菜の種を集め、4月に入学してくる新1年生にプレゼントする準備をしています。小さいビニル袋に種のラベルシールを貼り、種類を間違えないようにみんなで確認し、ていねいに袋詰めしていきます。種と一緒に栽培活動の楽しさや草花を大切に育てる優しい心も袋詰めして、次の1年生に引き継いでいきます。



体育館ではソーラン節の練習風景が……。本校が運動会で伝統的に取り組んでいるソーラン節(4～6年生)がありますが、伝統を引き継ごうと、3年生を体育館の中心に配

置き、4年生と5年生がお手本を示して練習をがんばっています。伝統を引き継ぐ取組も始まっています。

どの取組も、極端にいうと、何もしなくてもそこそこ流れでつながっていくようにみえますが、大切なことは「つながる」に加えて「つなげる」ということ、つまり活動そのものに気持ちを込めるということです。次の学年に向けて少しずつ表情が引き締まってきています。



11名の入学をお待ちしています

先週金曜日（7日）に本校の入学説明会を行いました。現在のところ、次年度は11名の入学が予定されています。兄弟がすでに在籍されているところもあれば、初めてのお子さんが入学されるご家庭もあり、そんな中、学校生活全般や保健関係、PTAなどいろいろな説明を行いました。入学に際していろいろとご不安なこともあるかと思いますが、まずはお子さんが笑顔で入学してくれることを在校生、教職員一同心待ちにしています。

説明には新1年生も一緒に来校し、次年度のリーダーとなる5年生と一緒に活動しました。ちょっとお互いに緊張した様子も見られましたが、体育館で体を動かしたり教室で工作をしたりして楽しい時間を過ごしました。



あらためておめでとう！

12月末と先月の学校だよりで、県の表彰を受けた6年生を紹介しましたが、その栄誉をたたえ、平戸市教育委員会の表彰を受けることになりました。あらためて紹介します。

「第74回社会を明るくする運動作文コンクール」
最優秀賞 6年 K.Tさん

「第70回記念長崎県小・中学校児童生徒美術展
『子ども県展』絵画部門
長崎県知事賞6年 H.Sさん



先週の全校朝会では、この二人も含め、様々なコンクールや大会において入選やすばらしい記録を残したみなさんを伝達表彰しました。各方面での活躍が光っています。

田平東小HPはこちらから→

